

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	メディアクローン攻撃を防御するコミュニケーション系
研究代表者	馬場口 登（大阪大学・大学院工学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>「オレオレ詐欺」などのメディアクローン攻撃は社会問題化しており、その対策は重要性を増している。本研究はプライバシー保護及びバイオメトリクス認証を基盤としてその対策技術の提案を目指しており、応募者はこれらの分野で対策技術の開発を長年続けていて、国際的にも高い評価を受けている。</p> <p>実績のある2つの研究グループが組んでおり、研究計画においても、メディアクローン生成に力を入れることにより防御法の性能向上を図るなど、実効力のある対策技術を目指しており、優れた成果が期待できる内容になっている。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>